

Q & A

Q トコジラミに刺されるとどうなりますか？

A 吸血されると強いかゆみや紅斑がでます。吸血後、しばらくたってからかゆみができることもあるため、旅行先などで刺された場合、どこで刺されたかわからないこともあります。
かゆみはアレルギー反応であるため個人差がありますが、あまりのかゆさに熟睡できず、日常生活に支障が出る場合もあります。

Q どうして被害が増えているの？

A 都内で相談が増え始めた10年ほど前、被害の中心はホテル等の宿泊施設でした。旅行者の荷物等に付いて持ち込まれることが多いと考えられています。しかし近年、個人住宅からの相談も増加しています。ダニと間違えたまま対策をしているうちに被害が拡大してしまい、さらに病院・図書館・映画館などの公共施設に持ち込んでしまっているケースもあるようです。
トコジラミは空腹や寒さに強く、効きにくい殺虫剤もあるため、早期発見・早期駆除が被害拡大を防ぐ重要ポイントになります。

Q 感染症の心配は？

A 日本ではトコジラミが感染症を媒介した事例はありません。
念のため、吸血したトコジラミを潰して血液に触れないように注意が必要です。

Q 不衛生な場所に発生する？

A トコジラミが生息する場所は「清潔・不潔」には関係ありません。
吸血源(人)がいて、潜みやすく(隙間)、快適(適温)な条件があれば、清潔な場所でも生息・繁殖します。
ただし、整理整頓ができず掃除が行き届いていない場合、トコジラミの発見が遅れて被害が広がるリスクが高くなります。

Q 駆除の相談先を教えてください。

A 駆除については、信頼のおける駆除業者が加盟している「公益財団法人東京都ペストコントロール協会」をご紹介しますので、保健所にお問い合わせください。

板橋区保健所(生活衛生課 環境衛生担当)

03-3579-2335

窓口 板橋区大山東町32-15
(板橋区保健所3階)



※住宅内の衛生害虫の相談(おおまかな種類の同定や対策のアドバイス)も行っています。

初版 その“かゆみ”トコジラミかもしれません！ 2020年3月発行
作成 板橋区保健所 生活衛生課

参考文献:トコジラミ(ナンキンムシ)の知識 2019年版 豊島区池袋保健所

その“かゆみ”

トコジラミ

(別名ナンキンムシ)

かもしれません！



近年増加中！



都内の保健所に寄せられたトコジラミ相談件数の推移
(東京都福祉保健局)

トコジラミはヒトに吸血被害を与え、駆除が難しい虫です。
刺され始めた頃はかゆくならないことが多く、繰り返し刺されるうちにかゆみが強くなることがあります。
近年、都内の保健所ではこのトコジラミの相談が増えています。正しい対処方法を知り、トコジラミによる被害の拡大を防ぎましょう。

早期発見！のポイント ➡ 2・3面へ
トコジラミQ&A ➡ 4面へ

見

ダニの被害と間違えやすい！ダニ対策ではトコジラミは解決できません！

分けるポイント

イエダニ (0.6~1.0mm)	ツメダニ (0.3~1.0mm)	トコジラミ (5~8mm)	アタマジラミ (2~3mm)	ネコノミ (1.5~3mm)
●主に肌が露出していないところを刺して吸血。 皮膚の柔らかい部分が刺されやすい。 ※ネズミがいるところに発生する。	●繁殖場所と接している肌を刺す。 夏に被害が多く、背中や横腹等を刺されることが多い。	●肌が露出しているところを刺して吸血。 手・腕・脚・首など。 被害は一年中あるが、夏が最も多くなります。	●頭髮部位の皮膚を中心に刺して吸血。 ※主に保育園~低学年の子どもに寄生することが多い	●主に露出している脚(ひざ下)を刺して吸血。 横になっていると脚に限らない。 夏に相談が多い。 ※猫のお産場所に多量発生する

※虫以外の原因でかゆみが起こることもあります。なかなか治らないかゆみは、皮膚科を受診しましょう